[1] --- 教員コラム 19 弾 第 2 回「読書とメンタルヘルス」 細胞生物学 / 吉澤達也

 [2] --- 図書館1階トイレ改修工事始まります

 [3] --- 「広小路寄席」お 2 人の同級生対談をアップしました

 [4] --- 図書館ホームページと Mecke を更新しました

 [5] --- 令和 7 年度第 2 回企画展示 < 世界の医療事情 > 展開催中

 [6] --- [7/26(土)] PubMed メンテナンス

 編集後記にかえて

【1】--- 教員コラム 19 弾 第 2 回「読書とメンタルヘルス」

細胞生物学 / 吉澤達也

.....

心の余裕と読書量は比例している、そう思った。

小さな頃からそれなりに本は読んできた。小学校の図書館では、誰もが読むような「シートン動物記」「ファーブル昆虫記」「江戸川乱歩全集」「シャーロックホームズ全集」などシリーズものを片端から読んでいた。中学・高校では、J.R.R.トールキン、U.K.L.グウィンなどのファンタジー小説や筒井康隆、星新一、F.K.ディック、S.キングなどの SF 小説にはまり、空想の世界を楽しんでは架空の生物や風景の絵を描いていた。ちなみに S.キングのホラー作品も、かなりのファンである。大人になってからは現代ミステリーが好きで、今では誰もが知る東野圭吾や伊坂幸太郎が「このミステリーがすごい!」(宝島社)に出始めた頃から読んでいる。また、時代小説も大好きであり、池波正太郎の「剣客商売」「仕掛人・藤枝梅安」のシリーズ、藤沢周平の「たそがれ清兵衛」「隠し剣のシリーズ」などは、

独特の世界観に浸れるので本棚には必須の書である。このように見ると、どうやら私は空想や妄想が大好物なのだと分かる。現実世界を束の間離れ、違う世界を漂うことでストレスを発散して心の平穏を得ているのかもしれない。本の趣味はその人の心を色濃く反映しており、なかなか同じような趣味を持つ方には出会えない。おすすめの本を聞いたり、教えたりして後悔したことが何度もある。本の趣味を知られるのは、何か心の中を覗かれているようでむず痒い。

そんな私も、ここ十年近く読書から離れていしまっていた。読書をしようという意識すら持たなかったように思う。十年前といえば、長女が生まれた頃だ。確かに、子育てに家事、研究に教育、忙しくて時間がなかったのは事実である。しかし、大学院生時代などは、4、5時間の睡眠時間でそれ以外はずっと実験漬けの日々であったが、合間を見つけては読書をしていたはずだ。つい最近、手術で入院をした。入院中は痛くてしばらく動けず、WiFi もないためパソコンで溜め込んだ仕事もできなかった。暇を潰す術もなく、お手上げである。常に何かの締め切りに追われ余裕のない日々を何十年も続けていたが、物理的に何もできない状況に腹を括ったのか、何か憑き物が取れたように心が軽くなった。そして、その時ふと本を読みたくなった。妻に連絡し、自宅の本棚で眠っていた購入後一回も開いていない本を持ってきてもらい、一心不乱に読んだ。久しぶりの空想の世界は、昔と何一つ変わらない感じで私の心を穏やかに安定させてくれ、なんとも言えないノスタルジックな気持ちにさせた。

退院してひと月経ち、また締め切りに追われる現実世界で頑張っている。しかし、本を 読みたい気持ちは消えていないようだ。何が変わったのかはわからないが、前よりは気持 ちが楽である。

さあ、週末はどんな一冊を買いに行こうか。想像するに楽しい。

※過去の教員コラムは、こちらです。

【2】--- 図書館1階トイレ改修工事始まります

.....

附属図書館1階トイレが本日(7/24)から改修工事に入りました。改修工事中は一時的に騒音が発生します。また、1階男女・多目的トイレが使用できません。大変ご迷惑をおかけしますが、附属図書館を出て右側の1階トイレ、階段を上がった2階トイレ、または館内2階トイレをご利用ください。

◆期間:2025/7/24(木)~10/31(金)

【3】--- 「広小路寄席」お2人の同級生対談をアップしました

.....

8/28(木)に開催する落語会にご出演いただく春風亭一之輔さんと三遊亭楽生さんの対談記事を京都広小路通信にアップしました。

前編 <u>たった一人で正座して、話芸だけで、数多のお客さんを笑いと人情の世界へいざな</u>う

後編 同級生だけど、落語家として全く違う道のりを歩んできた二人

落語会「広小路寄席」は定員に達したため、図書館ホール開催の受付を締め切りましたが、会場とは別の図書館1階コトスクエアにて、生中継(ライブビューイング)を開催します。先着70名限定ですので、中継の観覧を希望される方は、お早めに以下のフォームからお申込みください。

春風亭一之輔&三遊亭楽生「広小路寄席」ライブビューイング

開催日時 2025/8/28(木)13:00

会場 京都府立医科大学附属図書館 Koto Square

定員 先着 70 名(事前申込が必要です)

参加費 無料

申込方法 申込みフォーム https://forms.gle/HJ4NVeFZVu5w8aN66

(1回のお申込みで2名まで受け付けます。)

チラシ こちら

また、7/15(火)に図書館ホールと Koto Square で開催された京都クオリアフォーラム 「博士キャリアメッセ KYOTO/NARA」第 1 部のレポートを、同じく京都広小路通信に掲載しています。ぜひご覧ください。

博士の未来をひらく、実りある一日

【4】--- 図書館ホームページと Mecke を更新しました

......

加し、統合検索 Mecke 窓の位置を変更しました。スマホでの検索も便利になっています。 また、統合検索 Mecke にて、検索範囲を「全て」選択後、本学機関リポジトリ「橘井」に 絞り込むことができるようになりました。どうぞご利用ください。

図書館ホームページ https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/

【5】--- 令和7年度第2回企画展示<世界の医療事情>展開催中

.....

現在開催中の「EXPO2025 大阪・関西万博」に合わせて、世界に目を向け、海外の医療 事情や、日本を飛び出して活躍する医師・看護師などに関する本を集めました。

■開催期間:2025/7/15(火)~8/6(水)

■場所:附属図書館 カウンター前

■展示資料一覧:こちら

■チラシ:こちら

【6】--- 「7/26(土) PubMed メンテナンス

.....

<u>PubMed</u>を提供しているアメリカ NLM データセンターのメンテナンスのため、計画停止が予定されています。PubMed 検索やデータソースへのアクセスが中断されたりパフォーマンスが低下する可能性があります。

◆2025/7/26(土)10:00 から 24 時間以上(日本時間)

NCBI のすべてのサービスは、7/28(月)午後までに利用可能になる予定です。

[Book Review]・・・編集後記にかえて

.....

森谷明子著『れんげ野原のまんなかで』(創元推理文庫 2011 年)

新人司書の文子が配属されたのは、ススキ野原のど真中にぽつんと建つ、秋葉図書館。 人影もまばらで、のんびりのどかな毎日一けれど、そこを訪れる人々が投げかけていくの は、季節ごとにふと生まれる、ささやかな謎。

文子は、博識な先輩司書・能勢の力を借りながら、その一つひとつに向き合っていく。 最近、閉館後もなぜか居残る小学生が現れた。館員の目をすり抜けて、何をしようとして いるのか?

「図書館には本しかない。でも、本だけはある。」「試してくれよ。書物の旅をしてみてくれよ。」能勢の言葉が、図書館の深い魅力を教えてくれる。

「ここに来れば、いつでもこんなきれいなものが待っていてくれる」そう語る常連の深雪 さんの言葉が、読む人の胸にもじんわりとしみ込んでいく。

本が好きな人、図書館が好きな人にこそ読んでほしい。本と人、そして日常の中にそっと潜む謎をめぐる、心あたたまる優しいミステリです。(H.T.)

(京都府立図書館所蔵「K-Libnet」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog: https://booklog.jp/users/kpumlib この本のページ: https://booklog.jp/item/1/4488482023

.....

図書館メール News546 号 2025.7.24 発行(隔週木曜日発行)

編集 · 発行:京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html